



笠松町の魅力を再発見

笠松力検定 ビギナー検定

10月25日、笠松中学校の1年生が笠松力検定に挑戦しました。受検に向け、朝学習などで町に関する知識を深めてきた生徒たちは、真剣な面持ちで検定に望んでいました。

笠松力検定は、町の魅力を再認識していただくために自然・文化・歴史・産業・観光・行政などの各分野から出題されるもので、中学生向けのビギナー検定は、4年前から毎年実施しています。皆さんも検定を通じて笠松町について学んでみませんか。申込方法などの詳細は、19ページをご覧ください。



今年で4年目を迎えたビギナー検定

町いきいきレクリエーション大会

10月29日、町民体育館で町いきいきレクリエーション大会が開催され、笠松いきいきクラブ連合会（旧笠松町老人クラブ連合会）の会員約400人が「グラウンド・ゴルフのホールインワン」や「じゃんけんポン!」など11種目の競技を楽しまれました。

当日は、松枝保育所と下羽栗保育所の園児も大会に参加し、かわいい園児の姿に会場は大盛り上がりで、笑顔の絶えない楽しい1日となりました。

みんなで楽しいひととき



大盛り上がりの「じゃんけんポン!」

災害ごみの処理を視察



イステージ(株)の様子

町議会が行政視察を実施

10月30日から11月1日にかけて、町議会が行政視察を実施しました。

公共交通システムについて先進的な取り組みを進めている長野県東御市では、公共バスの巡回型と予約型を併用しており、今後の町公共施設巡回町民バスの運行方法を検討する上での貴重な参考事例となりました。

また、町の可燃ごみ搬入先焼却場の1つであるイステージ(株)では、中間処理の工程を視察・見学しました。

さらに、地域資源「笛吹川」を活用したまちづくりを進めている山梨県笛吹市では、賑わいある水辺空間の形成を支援する国土交通省の「かわまちづくり計画」の認定を受けて、まちづくりと一体となった河川整備を推進されており、水辺の有効活用方策や成果をお聞きました。

今回訪問した市役所では、議場見学など広く議会活動に関する意見交換を行い、貴重な視察研修となりました。